

# 稲敷地域を支える多様な担い手の育成

稲敷地域農業改良普及センターでは、新規参入やUターンの就農希望者が円滑に就農できるよう、市町村、JAなどの関係機関と連携して就農支援体制を整備し、就農研修会や就農相談会などを開催しました。また、青年農業者を対象にきめ細かな農業学園講座を開催し、農業経営に必要な知識・技術の習得や仲間づくりを支援しました。

## ● 就農支援体制の整備 ●

市町村から推薦された就農アドバイザーが就農相談会で就農希望者に助言したり、体験研修を受け入れるなど支援体制が整いました。

また、当普及センターのホームページに、就農相談会や農業を始めたい方への支援制度のお知らせなどを掲載しました。市町村のホームページからもリンクしています。



新規参入者就農研修会の様子



農業学園の様子

## ● 青年農業者の育成 ●

新規就農者の農業の基礎的な知識・技術の習得と仲間づくりを目的として、農業学園基礎講座を9回開催しました。

また、水稻コース、れんこんコース、簿記コースと3つの専門講座を延べ10回開催し、青年農業者の専門的な知識・技術の習得を支援しました。

## ● 定年帰農者等の確保 ●

市町村、JA、普及センターの共催により、定年帰農者等を対象に「いなしき農業基礎講座」を開催しました。

実際にほ場を借りて、実習＋講義という内容ですぐに役立つように講座を工夫しました。受講生が地域の担い手となるよう、引き続き支援していきます。



受講生による栽培実習の様子